

第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

1 質の高い医療の提供

(1) 医療機能の充実

ア 神奈川県立足柄上病院（以下「足柄上病院」という。）

- ・ 地域の中核的医療機関として期待される、内科、小児科、外科、産婦人科等の診療科における医療を提供する。
- ・ 高齢者病棟（スマイル）を活用した高齢者への専門的・個別的医療や看護の提供等により「高齢者総合医療」を推進する。

[スマイル患者数の実績と目標値]

平成20年度実績	平成22年度目標値
延1,209人	延1,500人

- ・ 全身用コンピュータ断層撮影装置の整備・活用により検査時間の短縮化、迅速化を進め、高齢者をはじめとする患者の診療における負荷軽減を図る。
- ・ 消防本部との連携を強化するとともに、総合診療科医師等の確保により救急体制を充実して、救急患者の受入れを拡大する。

[年間救急受入の実績と目標値]

平成20年度実績	平成22年度目標値
9,972件	11,900件

- ・ 産婦人科医師の確保を図るとともに、助産師外来や院内助産、母親教室、母乳育児支援等、助産師を活用した取組により、地域で安心して出産ができるための産科医療体制を充実する。

[分べん件数（助産師分べん件数）の実績と目標値]

区分	平成20年度実績	平成22年度目標値
分べん件数	241件	250件
うち助産師分べん件数	31件	40件

イ 神奈川県立こども医療センター（以下「こども医療センター」という。）

- ・ 小児の高度・専門的医療を提供する三次医療施設として、手術の実施件数の増加に対応するため、医師の増員等により手術体制を充実する。

[手術件数の実績と目標値]

区分	平成20年度実績	平成22年度目標値
手術件数	3,895件	3,770件
うち新生児手術件数	129件	135件
うち乳児外科手術件数	48件	50件

- ・ 周産期救急及び小児の三次救急を引き続き実施する。

[周産期救急の実績と目標値]

区分	平成20年度実績	平成22年度目標値
N I C U受入実患者数	512件	600件

- ・ 小児期に特異的な感染症や病院内で発生する感染に対する予防及び拡大防止の体制を強化するため、感染制御室を設置する。

## ウ 神奈川県立精神医療センター芹香病院（以下「芹香病院」という。）・神奈川県立精神医療センターせりがや病院（以下「せりがや病院」という。）

### （芹香病院）

- ・ 福祉職(精神保健福祉士)を増員し、神奈川県精神保健福祉センターや3県市主管課との密接な連携の下、措置入院患者のみでなく、急激な精神症状の悪化が見られ入院が必要な患者の受入れを拡大する。

[精神科救急件数の実績と目標値]

区分	平成20年度実績	平成22年度目標値
措置入院患者	93件	100件
急激な精神症状の悪化が見られ入院が必要な患者	40件	50件

- ・ 病室環境のアメニティの改善、難治性うつ病等に対する治療法（反復性経頭蓋磁気刺激療法）の開拓、復職支援等のリハビリテーションの導入等、うつ病等の精神疾患患者を対象としたストレスケア医療に取り組む。
- ・ 心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律（医療観察法）に基づく指定医療機関としての機能整備を推進するため、入院治療を実施する専門病棟の整備に係る基本・実施設計に着手する。

### （せりがや病院）

- ・ アルコールや覚醒剤等の薬物による依存症と中毒性精神障害を対象とした専門治療プログラムによる依存症医療を実施する。
- ・ 高齢者の再入院の繰返しを防止するため、高齢者を対象とする入院治療プログラムの充実を図る。
- ・ 自助グループ等への参加が難しい患者に対して、従来からのアルコール外来ミーティングに加え、外来作業療法を開始する。
- ・ 覚せい剤依存患者に対する、外来での再乱用防止認知行動療法を実施する。

[外来初診患者数の実績と目標値]

平成20年度実績	平成22年度目標値
延756人	延800人

## エ 神奈川県立がんセンター（以下「がんセンター」という。）

- ・ 麻酔科医師等の増員により手術実施体制を充実し、診療待ち・手術待ちの患者が多数いる状況を改善する。

[手術件数の実績と目標値]

平成20年度実績	平成22年度目標値
2,471件	2,700件

- ・ 外来化学療法や放射線治療を実施し、がん対策を総合的に推進する。

[外来化学療法件数の実績と目標値]

平成20年度実績	平成22年度目標値
12,130件	12,580件

[放射線治療件数の実績と目標値]

平成20年度実績	平成22年度目標値
18,060件	19,500件

- ・ 平成26年度からの治療開始を目指して、重粒子線治療施設の整備に係る基本設計業務に取り組む。
- ・ がん専門医を育成するため、後期臨床研修を充実する。
- ・ 都道府県がん診療連携拠点病院としてがん治療の均てん化を進めるため、県内の医療従事者を対象に研修等を行うとともに、地域がん診療連携拠点病院が行う研修等への支援や地域の医療機関も参加できる合同カンファレンスを実施する。

[がん専門研修の実績と目標値]

区分	平成20年度実績		平成22年度目標値	
	回数	参加人数	回数	参加人数
がん臨床講座	30回	568人	30回	600人
緩和ケア研修	2回	94人	2回	50人

## オ 神奈川県立循環器呼吸器病センター（以下「循環器呼吸器病センター」という。）

- ・ 循環器科医師等を増員し、心臓カテーテルや手術を中心とした循環器疾患治療の実施体制の充実を図る。

[P C I 症例数の実績と目標値]

平成20年度実績	平成22年度目標値
414件	355件

[心臓手術の実績と目標値]

平成20年度実績	平成22年度目標値
61件	31件

- ・ 呼吸器外科医師等の増員や外来及び入院患者への化学療法実施体制を整備し、肺がん治療を強化する。

[胸腔鏡下手術件数の実績と目標値]

平成20年度実績	平成22年度目標値
288件	317件

- ・ 多剤耐性結核対策等の総合的な結核医療を実施する。

## (2) 医療機器・施設整備の推進

### ア 医療機器整備の推進

- ・ 高額医療機器について、足柄上病院における全身用コンピュータ断層撮影装置整備をはじめとした計画的な整備、更新を行う。
- ・ 通常の医療機器について、計画的な整備により老朽化した機器を更新する。

### イ 施設整備の推進

#### (7) がんセンター総合整備の推進

- ・ 平成25年度中の新病院開業・診療開始を目指して、SPC<sup>※1</sup>との設計協議等を進める。
- ・ 平成26年度からの治療開始を目指して、重粒子線治療施設の整備に係る基本設計を行う。

#### (イ) 精神医療センター総合整備の推進

- ・ 医療観察法に基づく指定医療機関としての機能整備を推進するため、入院治療を実施する専門病棟の整備に係る基本・実施設計に着手する。
- ・ 施設の老朽化や新たな精神科医療への対応を図るため、新棟建設に向けた調査設計を行う。

#### (ウ) その他の施設整備の推進

こども医療センター医療従事者公舎を新築するための実施設計に着手する。

## (3) 地域医療連携の強化

各病院において、地域の医療機関との役割分担の明確化と連携の強化に取り組み、紹介・逆紹介の推進や地域連携クリティカルパスの充実を行う。

(参考) 紹介件数実績

病院名	平成20年度
足柄上病院	4,528件
こども医療センター	6,772件
芹香病院	397件
せりがや病院	240件
がんセンター	4,838件
循環器呼吸器病センター	3,613件

(参考) 逆紹介件数実績

病院名	平成20年度
足柄上病院	3,606件
こども医療センター	3,450件
芹香病院	357件
せりがや病院	200件
がんセンター	1,586件
循環器呼吸器病センター	3,318件

#### (4) 臨床研究の推進

##### ア 臨床研究

###### (7) がんセンター

- ・ がん医療の分野における疫学調査、診断技法・治療法の開発及び臨床応用のための研究に取り組む。
- ・ 協力病院の院内がん登録の整備を進める。  
(参考) 神奈川県がん登録事業の登録件数実績 (平成20年度) 31,714件
- ・ 神奈川がん臨床研究・情報機構における腫瘍組織収集・試料提供事業を実施する。

[神奈川がん臨床研究・情報機構における腫瘍組織収集の実績と目標値]

平成20年度実績	平成22年度目標値
512件	600件

###### (1) その他の病院における臨床研究の推進

各病院の特性を生かし、診断技法・治療法の開発及び臨床応用のための研究に取り組む。

##### イ 治験

###### (7) こども医療センター

小児治験ネットワークの拡大・強化等により、他の医療機関と連携した小児医療の治験に取り組む。

###### (1) その他の病院における治験の推進

各病院の特性及び機能を生かして治験を推進する。

(参考) 治験実施状況 (平成20年度)

病院名	治験受託件数	受託研究件数
足柄上病院	8件	14件
こども医療センター	13件	60件
芹香病院	1件	0件
がんセンター	28件	47件
循環器呼吸器病センター	22件	38件

## 2 安全で安心な医療の提供

### (1) 安全で安心な医療を支える医療体制の整備

小児期に特異的な感染症や病院内で発生する感染の予防及び拡大防止のため、こども医療センターで感染制御室を設置し、院内感染サーベイランスの実施、抗菌薬適正使用の強化等に取り組む。

### (2) 医療安全対策の推進

医療事故対応マニュアルの整備、医師、看護師等の研修の充実、医療安全会議の開催、インシデント・アクシデントレポートの活用、医療事故の公表等、総合的な医療安全対策を推進する。

(参考) インシデント・アクシデント発生件数

区分	平成20年度
インシデント	6,574件
アクシデント	773件
計	7,347件

### (3) 感染症対策の強化

- ・ 感染防止会議の開催による対策の徹底や、新型インフルエンザの発生等を踏まえた院内感染防止マニュアルの見直し等、院内感染防止対策を強化する取組を推進する。
- ・ 新型インフルエンザ等の患者受入れに当たって、こども医療センターでは小児に特有な診療・治療を行う等、各病院の特性及び機能を生かした感染症に関する取組を推進する。

### (4) 災害対策の推進

- ・ 各病院で、医薬品・災害用医療資材等を備蓄するとともに、定期的に防災訓練等を実施する。
- ・ 施設の老朽化が進み耐震化が求められている精神医療センターにおいて、総合整備に向けた調査設計を実施する。

(参考) 防災訓練実施回数及び防災訓練参加者数の実績

区分	平成20年度
防災訓練実施回数	14回
防災訓練参加者数	2,630人

- ・ 災害時には、神奈川県医療救護計画に基づく県立病院救護班の編成、被災地等への派遣を実施する。
- ・ 足柄上病院は、県西地域医療圏における災害医療拠点病院として、災害時に患者の受入れ等を行う。

### (5) 情報セキュリティの強化

- ・ 情報システムにおける個人情報漏えいを防ぐため、ウイルス対策機能、迷惑メールフィルター機能を有する電子メールサーバを導入する。
- ・ 個人レベルでの情報セキュリティの意識を高めるため、情報セキュリティポリシーを制定するとともに、情報セキュリティの意識啓発を図る冊子を配付する。

## 3 患者の視点に立った病院運営

### (1) 患者にとって分かりやすい医療の提供

- ・ 診療計画書を利用して治療内容を説明する等、患者への十分な説明と同意による医療（インフォームドコンセント）を推進する。
- ・ 各県立病院におけるクリティカルパスの適用状況の調査分析を踏まえて、クリティカルパス適用拡大を図る。

(参考) クリティカルパスの作成件数実績

病院名	平成20年度
足柄上病院	48件
こども医療センター	22件
芹香病院	1件
がんセンター	23件
循環器呼吸器病センター	18件

- ・ 地域医療連携室等で、経済的問題や家庭環境に係る医療福祉相談等、多様な相談を実施する。
- ・ がんセンター相談支援室及び神奈川がん臨床研究・情報機構情報センターにおいて、がんに関する医療・福祉等の幅広い電話相談に応じる。

(参考) がんセンターにおける電話相談件数実績 (平成20年度) 6, 109件

- ・ 患者がより良い治療方法を自己決定できるように、ホームページによる案内に努める等、セカンドオピニオンを推進する。

(参考) セカンドオピニオン件数実績

病院名	平成20年度
足柄上病院	3件
こども医療センター	40件
芹香病院	5件
がんセンター	789件
循環器呼吸器病センター	48件

- ・ 県民の意見を反映し、患者の視点に立った病院運営を実現するため、各病院で患者満足度調査等を実施する。

## (2) 県民への病院・医療情報提供の充実

- ・ 公開講座等を通じて、広く県民に疾患・予防等に関する知識の普及、啓発を行うとともに、県立病院が行う治療の方法や実績、がんの診断や治療に関する情報等を、ホームページや広報誌等を通じて提供する。
- ・ 情報の提供においては、より見やすいホームページへ改善する等、県民が必要とする情報を得やすくするための工夫を図る。

## (3) 患者の利便性の向上

- ・ 各病院において待ち時間の実態調査を実施し、待ち時間の短縮を図るための改善に取り組む。
- ・ 支払方法の選択範囲を拡げるとともに、支払待ち時間を短縮して患者等が診療終了後速やかに病院から帰れるようにするため、デビットカードサービスの利用拡大、コンビニエンスストア収納、休日・時間外における支払窓口の開設等により、支払方法の多様化を図る。

## (4) ボランティア・NPOとの協働

- ・ ボランティアの協力を得て、県立病院の案内業務や患者のレクリエーション活

動、療養の支援等を実施する。

- ・ 通訳ボランティアによる外国籍患者への支援を進める。
- ・ こども医療センター入院患者の家族滞在施設（リラのいえ）について、利用希望者等からの利用相談や紹介等を通じて運営の支援を行う。

## 4 医療人材の確保・育成

### (1) 医師の確保と育成

- ・ 連携協力のある大学医学部の医局ローテーションを医師確保の基礎としつつ、公募や医師の人的ネットワークも活用して、優秀な人材を確保する。
- ・ 後期臨床研修医が研修に専念できるようにするため、その身分を研修プログラムに沿った期間を任期とする常勤職員として、報酬額を相応とする等、待遇面を充実する。

### (2) 看護師の確保と育成

- ・ 県立看護専門学校や保健福祉大学と連携して学生向け説明会を実施し、受験を促進するとともに、採用試験の複数回実施等柔軟な採用行為を行うことにより、看護師確保に向けて受験者総数の拡大を図る。
- ・ 専門看護手当の創設、専門看護師あるいは認定看護師の資格を有する看護師を積極的に活用する等、職員の専門能力を称揚する取組により、職員の専門能力向上を促進する。
- ・ 看護専門学校等との連携の下に、看護学生の実習受入れ拡大を図る。

(参考) 看護実習受入実績

区分	平成20年度
保健福祉大学	123人
よこはま看護専門学校	397人
平塚看護専門学校	159人
その他	830人
計	1,509人

### (3) コメディカル職員等の確保と研修の充実

- ・ 採用時期を適切に設定する等、各病院の状況に応じて必要な職員を迅速に確保する。
- ・ 職員の資質の向上を図るため、病院の実態や職員の能力・経験等を踏まえた研修を実施する。
- ・ 研修の実施に当たっては、内部研修だけでなく、研修に要するコスト、時間、人的リソース、ノウハウ等を踏まえて、県機関、学会等が実施する外部研修を活用する。

### (4) 勤務環境の改善

- ・ 医療従事者が安心して子育てし、働き続けることができるよう、院内24時間保育を実施する。
- ・ 老朽化の著しいこども医療センターの医療従事者公舎について、建替えに向けた実施設計に着手する。



- ・ ワークライフバランスを取りやすい多様な勤務形態の導入を検討する。

## 第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

### 1 業務運営体制の確立

- ・ 理事会による法人の運営体制の下に、医療機能の充実及び経営改善に取り組むため、実際の業務運営の主体である各病院に適切な権限移譲を行い、病院の長の経営責任を明確にするとともに、各病院に、経営企画機能を担う経営企画部門を設置する。
- ・ 法人全体の運営や病院間の調整を図り、中期目標等に掲げる取組を着実に達成するため、事務部門として本部事務局に、総務企画、人事給与、財務の各部門を設置する。

### 2 効率的・効果的な業務運営と経営改善

#### (1) 効率的・効果的な業務運営

##### ア 人事・予算の弾力的運用

中期目標及び中期計画の枠の中で、医療ニーズに迅速に対応するため、人事・予算等を弾力的に運用できる制度を活用した取組を行う。

##### (7) 診療体制・人員配置の弾力的運用

正規職員の採用や医師等医療スタッフの配置を弾力的に行うとともに、契約職員や非常勤職員等、正規職員以外の雇用形態を含む多様な医療専門職の活用等を行う。

##### (イ) 予算執行の弾力化

中期計画の枠の中で、予算科目間、節間及び年度間で弾力的に運用できる会計制度を活用し、医療ニーズに迅速に対応した予算執行を行う。

##### イ 事務職員の専門性の向上

- ・ 法人採用職員を本部事務局及び各病院に配置する。
- ・ 業務を通じて専門的な知識や能力を高めるとともに、診療報酬事務等に係る専門的な研修を実施する。

##### ウ 職員の経営参画意識の向上

職員表彰制度や、病院の経営実績を反映した医療機器整備等予算の傾斜配分等、経営改善の成果を病院に還元する仕組みを整備する。

##### エ ITの活用による効率的な医療提供の推進

循環器呼吸器病センターにおいて、画像情報ネットワークシステム(PACS)を導入する。

##### オ 効率的な事務執行の推進

医薬品・検査試薬・診療材料について、共同あっせん調達を実施する。

## (2) 経営改善の取組

### ア 収益の確保

- ・ クリティカルパスの適用範囲の拡大、病病・病診連携の強化、病床管理の弾力化等、より多くの県民に県立病院の医療を提供するための取組を実施する。

[病床利用率・平均在院日数・入院実患者数目標値（平成22年度）]

病院名	病床利用率	平均在院日数	入院実患者数	
足柄上病院	80.2%	13.1日	5,900人	
こども医療センター(病院) (施設)	85.1%	14.6日	7,000人	
	85.0%	(93日)	300人	
芹香病院	83.0%	133.3日	700人	
せりがや病院	80.0%	70.8日	330人	
がんセンター	85.4%	16.2日	8,000人	
循環器呼吸器病 センター	(一般)	81.4%	13.6日	3,900人
	(結核)	74.8%	(64日)	250人

#### 【目標】

上表に記載する病床利用率の達成を目指すとともに、最終年度において上表に記載する平均在院日数の短縮及び入院実患者数の増加を目指す。

なお、こども医療センター児童福祉施設及び循環器呼吸器病センター結核病棟については、施設の目的から平均在院日数の短縮に取り組むべき施設ではないため、その目標値は設定しない。

(参考) 病床利用率・平均在院日数・入院実患者数（平成20年度）

病院名	病床利用率	平均在院日数	入院実患者数	
足柄上病院	77.7%	13.0日	5,743人	
こども医療センター(病院) (施設)	85.2%	14.5日	7,067人	
	88.8%	92.1日	280人	
芹香病院	80.1%	143.0日	640人	
せりがや病院	70.7%	64.1日	322人	
がんセンター	81.8%	17.5日	7,073人	
循環器呼吸器病 センター	(一般)	84.0%	14.5日	3,781人
	(結核)	67.5%	61.6日	240人

- ・ 各病院の特性に応じて、診療報酬上の新たな施設基準を取得する。
- ・ 患者の状況に応じたきめ細かな相談や督促・催告の実施等による未収金の発生防止、早期の回収、診療報酬請求漏れの防止等、適正な診療報酬を確保するための総合的な取組を実施する。

## イ 費用の削減

- 後発医薬品情報の収集に医薬品管理システムを活用するとともに、後発医薬品の利用状況把握と有効な切替方策を検討して、後発医薬品の使用拡大を図る。

[後発医薬品の品目採用率及び金額採用率の実績と目標値]

区分	平成20年度実績	平成26年度目標値
後発医薬品の品目採用率	11.3%	15.0%
後発医薬品の金額採用率	3.1%	5.0%

- 院内保育業務等について、業務の委託化を進める。

### 第3 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画

「第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置」で定めた計画を確実に実施することにより、業務運営の改善及び効率化を進め、収支計画において、医業収支比率を133%以下とする。

#### 1 予算（平成22年度）

（単位：百万円）

区分	金額（税込）
収入	
営業収益	44,858
医業収益	33,213
運営費負担金収益	11,092
その他営業収益	554
営業外収益	934
運営費負担金収益	418
その他営業外収益	515
臨時利益	91
資本収入	1,012
長期借入金	891
運営費負担金収入	30
その他資本収入	91
その他の収入	0
計	46,894
支出	
営業費用	45,015
医業費用	44,012
給与費	22,004
材料費	10,145
経費	7,372
減価償却費	2,832
その他医業費用	1,659
一般管理費	426
その他営業費用	576
営業外費用	707
臨時損失	194
資本支出	3,638
建設改良費	1,167
地方債償還金	2,471
その他の支出	0
計	49,554

（注1）計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。

（注2）中期目標期間中の診療報酬の改定や給与改定等の変動は考慮していない。

#### 【運営費負担金の算定ルール】

救急医療等の行政的経費及び高度医療等の不採算経費については、地方独立行政法人法第85条第1項の規定を基に算定された額とする。

## 2 収支計画（平成22年度）

### (1) 神奈川県立病院機構全体

（単位：百万円）

区分	金額（税抜）
収入の部	45,830
営業収益	44,827
医業収益	33,182
運営費負担金収益	11,092
その他営業収益	554
営業外収益	912
運営費負担金収益	418
その他営業外収益	493
臨時利益	91
支出の部	45,864
営業費用	44,986
医業費用	43,633
給与費	21,991
材料費	10,135
経費	7,041
減価償却費	2,832
その他医業費用	1,634
一般管理費	424
その他営業費用	929
営業外費用	684
臨時損失	194
純利益	△34
目的積立金取崩額	0
総利益	△34

（注）計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。

経常収支比率 100.2%

医業収益に対する給与費の比率 70.5%

医業収支比率 131.5%

## (2) 足柄上病院

(単位：百万円)

区分	金額 (税抜)
収入の部	6,424
営業収益	6,212
医業収益	4,671
運営費負担金収益	1,482
その他営業収益	60
営業外収益	211
運営費負担金収益	119
その他営業外収益	92
臨時利益	0
支出の部	6,849
営業費用	6,649
医業費用	6,447
給与費	3,623
材料費	1,270
経費	993
減価償却費	551
その他医業費用	10
一般管理費	63
その他営業費用	138
営業外費用	187
臨時損失	14
純利益	△425
目的積立金取崩額	0
総利益	△425

(注) 計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。

経常収支比率 94.0%

医業収益に対する給与費の比率 78.8%

医業収支比率 138.0%

### (3) こども医療センター

(単位：百万円)

区分	金額 (税抜)
収入の部	15,559
営業収益	15,225
医業収益	10,932
運営費負担金収益	3,969
その他営業収益	325
営業外収益	333
運営費負担金収益	151
その他営業外収益	182
臨時利益	1
支出の部	14,803
営業費用	14,539
医業費用	14,114
給与費	6,651
材料費	2,827
経費	2,066
減価償却費	1,145
その他医業費用	1,425
一般管理費	137
その他営業費用	288
営業外費用	240
臨時損失	24
純利益	756
目的積立金取崩額	0
総利益	756

(注) 計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。

経常収支比率 105.3%

医業収益に対する給与費の比率 71.4%

医業収支比率 129.1%

#### (4) 芹香病院

(単位：百万円)

区分	金額 (税抜)
収入の部	3,800
営業収益	3,672
医業収益	2,237
運営費負担金収益	1,367
その他営業収益	68
営業外収益	40
運営費負担金収益	0
その他営業外収益	39
臨時利益	89
支出の部	3,997
営業費用	3,865
医業費用	3,779
給与費	2,669
材料費	475
経費	545
減価償却費	84
その他医業費用	6
一般管理費	37
その他営業費用	48
営業外費用	11
臨時損失	121
純利益	△197
目的積立金取崩額	0
総利益	△197

(注) 計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。

経常収支比率 95.8%

医業収益に対する給与費の比率 120.8%

医業収支比率 168.9%



## (5) せりがや病院

(単位：百万円)

区分	金額 (税抜)
収入の部	884
営業収益	868
医業収益	480
運営費負担金収益	385
その他営業収益	3
営業外収益	16
運営費負担金収益	6
その他営業外収益	11
臨時利益	0
支出の部	939
営業費用	925
医業費用	907
給与費	658
材料費	85
経費	131
減価償却費	32
その他医業費用	1
一般管理費	9
その他営業費用	10
営業外費用	13
臨時損失	1
純利益	△54
目的積立金取崩額	0
総利益	△54

(注) 計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。

経常収支比率 94.3%

医業収益に対する給与費の比率 138.6%

医業収支比率 188.9%

## (6) がんセンター

(単位：百万円)

区分	金額 (税抜)
収入の部	12,939
営業収益	12,791
医業収益	10,262
運営費負担金収益	2,491
その他営業収益	38
営業外収益	147
運営費負担金収益	42
その他営業外収益	106
臨時利益	1
支出の部	13,007
営業費用	12,924
医業費用	12,487
給与費	5,654
材料費	4,154
経費	2,041
減価償却費	502
その他医業費用	136
一般管理費	120
その他営業費用	317
営業外費用	73
臨時損失	11
純利益	△68
目的積立金取崩額	0
総利益	△68

(注) 計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。

経常収支比率 99.6%

医業収益に対する給与費の比率 56.1%

医業収支比率 121.7%

## (7) 循環器呼吸器病センター

(単位：百万円)

区分	金額 (税抜)
収入の部	6,223
営業収益	6,058
医業収益	4,599
運営費負担金収益	1,398
その他営業収益	60
営業外収益	164
運営費負担金収益	101
その他営業外収益	63
臨時利益	0
支出の部	6,267
営業費用	6,084
医業費用	5,898
給与費	2,736
材料費	1,325
経費	1,266
減価償却費	517
その他医業費用	54
一般管理費	58
その他営業費用	128
営業外費用	160
臨時損失	24
純利益	△44
目的積立金取崩額	0
総利益	△44

(注) 計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。

経常収支比率 99.7%

医業収益に対する給与費の比率 60.6%

医業収支比率 128.2%

### 3 資金計画（平成22年度）

（単位：百万円）

区分	金額（税込）
資金収入	51,878
業務活動による収入	45,522
診療活動による収入	33,213
運営費負担金による収入	11,510
その他の業務活動による収入	799
投資活動による収入	121
運営費負担金による収入	30
その他の投資活動による収入	91
財務活動による収入	891
長期借入れによる収入	891
その他の財務活動による収入	0
前事業年度よりの繰越金	5,345
資金支出	51,878
業務活動による支出	41,185
給与費支出	22,298
材料費支出	10,059
その他の業務活動による収入	8,827
投資活動による支出	1,167
有形固定資産の取得による支出	1,167
その他の投資活動による支出	0
財務活動による支出	2,471
移行前地方債償還債務の償還による支出	2,471
長期借入金の返済による支出	0
その他の財務活動による支出	0
翌事業年度への繰越金	7,056

（注1）計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。

（注2）前事業年度よりの繰越金は県からの承継額である。

## 第4 短期借入金の限度額

### 1 限度額

3,000百万円

### 2 想定される短期借入金の発生理由

賞与の支給等、資金繰り資金への対応

## 第5 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画

なし

## 第6 剰余金の使途

決算において剰余が発生した場合は、病院施設の整備、医療機器の購入等に充てる。

## 第7 その他業務運営に関する重要事項

### 人事に関する事項

#### (1) 適切な職員配置

- ・ 事務職員については、その専門性を高めるとともに、法人、病院の経営企画機能の強化を目指した職員配置を図る。
- ・ 医療従事者については、医師等スタッフの配置の弾力化、多様な雇用形態の活用等により、医療ニーズの変化及び患者動向に適切に対応した効果的な人員配置を行う。

#### (2) 的確な人事管理

医師や看護師等医療従事者の職務実態を踏まえた人事評価システムについての検討を進める。

**備考 ※1 S P C (Special Purpose Company : 特定目的会社)** P F I 事業を実施するために設立された会社をいう。